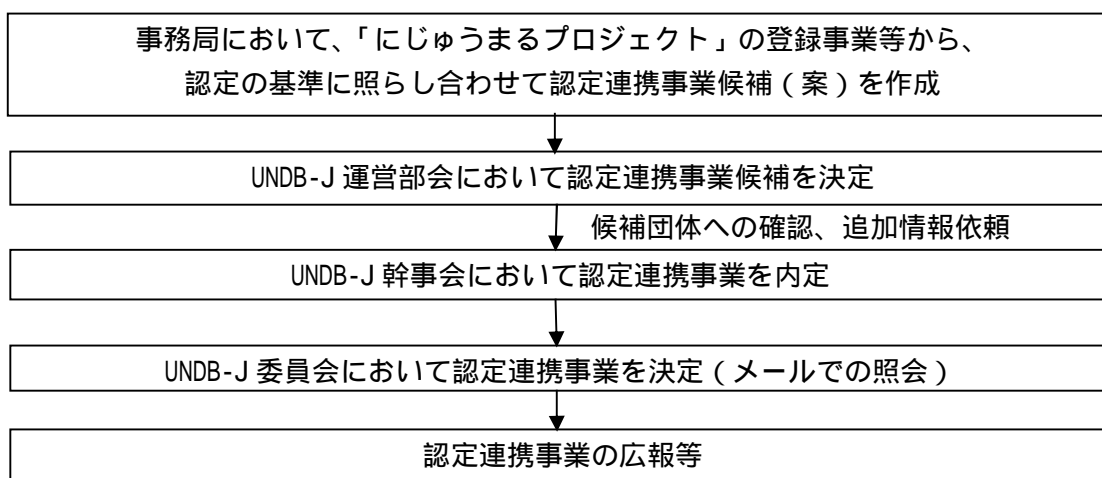


国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) 2017 年度連携事業の認定スケジュールについて

1 . 概要

UNDB-J 認定連携事業は、各セクターの参加と連携を促進するため、「にじゅうまるプロジェクト」等及び UNDB-J 構成団体(関係省庁含む)の関連する事業の中から、「多様な主体の連携」、「取組の重要性」、「取組の広報の効果」などの観点から総合的に判断し、UNDB-J が推奨する事業を認定する。

2 . 認定の基本プロセス



3 . 2017 年度認定連携事業における変更点

- ・ UNDB-J として、より多くの優良品業を奨励すること、UNDB-J 事業間の連携を促進し 2020 ロードマップに貢献すること、この 2 つの観点に基づき、従来の 2 回の認定プロセスに加え、「いきものにぎわい企業活動コンテスト」(いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会主催(国土緑化推進機構、日本アロマ環境協会、水と緑の惑星保全機構、地球環境行動会議(GEA)))の受賞事業(10 件程度/年)について、UNDB-J 認定連携事業の候補事業として、UNDB-J 委員会で検討するプロセスを追加したい。
- ・ 同コンテストの募集要項を、にじゅうまるプロジェクトおよび UNDB-J 連携事業の認定基準に即した形に見直す計画のため、従来の認定基準に変更はない。
- ・ コンテスト審査委員会が、連携・協働を主たる評価ポイントとして審査。UNDB-J 運営部会が担っている認定連携事業候補への助言機能を果たすものと認識。
- ・ また、この募集要項の変更により、コンテスト一次審査通過事業(40 件程度/年)は、情報追加などの手間なく、にじゅうまる宣言につながられるため、ロードマップの目標であるにじゅうまる 2020 宣言の達成にも寄与。

2017 年度スケジュール案

< 第 11 弾 >

2017 年

- 6 月中旬 UNDB-J 構成団体に対し、第 11 弾候補事業の推薦依頼（1 ヶ月程度）
- 8 月上旬 運営部会等の助言を経て、第 11 弾認定連携事業候補を決定
- 8 月 - 9 月 幹事会において内定
委員会において決定（メール照会）
- 9 月中旬 第 11 弾認定事業の発表（プレスリリース）
- 9 月 16 日 全国ミーティングで認定証授与

< 第 12 弾 >

- 6 月 コンテスト 募集
- 9 月 コンテスト 一次審査
- 10 - 11 月 コンテスト 審査会にて受賞事業の決定
- 11 月 受賞事業を認定連携事業として UNDB-J 委員会にて決定（メール照会）
- 11 月下旬/12 月 第 12 弾認定事業の発表（プレスリリース）
コンテスト受賞イベント等で、認定証を授与

< 第 13 弾 >

- 11 月 UNDB-J 構成団体に対し、第 13 弾認定候補事業の推薦依頼（1 ヶ月程度）
- 2018 年
- 1 月 運営部会等の助言を経て、第 13 弾認定連携事業候補を決定
 - 2 月 幹事会において内定（メール照会） 委員会において決定（メール照会）
 - 3 月 第 13 弾認定連携事業の発表（プレスリリース）
認定証は、2018 年度 UNDB-J 全国ミーティングで授与

いきものにぎわい企業活動コンテストについて

1. 賞の概要

概要：日本の企業等による生物多様性保全や持続的な利用の活動を顕彰し、広く内外に広報することにより、活動のさらなる広がりを推進することを目的に2010年に創設。

主催：(公社)国土緑化推進機構、(公社)日本アロマ環境協会、
(公財)水と緑の惑星保全機構、地球環境行動会議(GEA)が事務局。
環境省は後援・環境大臣賞を下付する立場

2. 第5回コンテスト(2016年)について

経緯：80の企業・団体からの応募があり、一次審査により選考された40件から環境大臣賞1件、農林水産大臣賞1件等の受賞者を決定。

環境大臣賞：

「札幌ドーム ECO MOTION～いきものの豊かな環境づくりと未来を担う子どもたちへの環境啓発～」(株式会社札幌ドーム・大成建設株式会社)

札幌ドーム施設の計画段階から多様な生きものが生息できる環境の創出を目指し、施工業者と施設管理者が連携して、モニタリング及び順応的管理、近隣の小学生との自然観察会等を行っており、更に永年の取組(20年)である点を評価。